

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 **新**文化施設映像配信環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2458)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 18,988 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|----------|-----|-----|----|----------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財産 収入 | 寄附金 | その他 | 県債 | 一般 財源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 18,988 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18,988 |
| 決定額 | 10,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,000 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染防止のため、県有文化施設では、文化公演が中止や延期、若しくは入場者数制限が行われ、文化関係団体・個人の発表の機会や、県民の文化芸術に触れる機会が失われている。今後のコロナ禍においては、コロナ感染を拡大させることなく、安心安全に文化芸術の活動ができ、それを鑑賞できる機会の創出が求められている。

(2) 事業内容

安心安全に文化芸術の活動ができ、より多くの県民等が文化芸術を鑑賞できる機会を創出するため、OKBふれあい会館のサラマンカホール及び飛騨・世界生活文化センターの飛騨芸術堂に指定管理者や貸館利用者が催す文化芸術の映像をライブ配信 (録画配信も可) できる設備を整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県有文化施設の設備整備であるため、県が実施することが妥当である。(県負担 10/10)

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|---|
| 工事請負費 | 18,988 | 映像配信に係る機器等の整備 ・サラマンカホール：10,293 ・飛驒芸術堂：8,695 |
| 合計 | 18,988 | |

決定額の考え方

ホールの使用頻度を勘案し、サラマンカホールのみ計上します

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

別添「公立文化施設におけるオンライン配信環境整備状況一覧」のとおり。

(2) 後年度の財政負担

経年劣化による機器の修繕に係る経費については、当該経費が60万円未満である場合には指定管理者が、60万円以上である場合には県が負担する。
(基本協定書で規定)

(3) 事業主体及びその妥当性

県有文化施設の設備整備であるため、県が事業主体として実施することが妥当である。

事業評価調査（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ○K B ふれあい会館のサラマンカホール及び飛騨・世界生活文化センターの飛騨芸術堂に、指定管理者や貸館利用者が催す文化芸術の映像をライブ配信（録画配信も可）できる設備を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 <small>（前々年度末時点）</small> | 目 標 | 達成率 |
|-----|-------|-------|------|---------------------------------|------|-----|
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

文化施設の設備整備に関する業務であり、定量的な指標で表すことが困難であるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | コロナ禍の中で失われている、文化関係団体・個人の発表の機会や県民の文化芸術に触れる機会の創出に資する事業であり、必要性が高い。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 指定管理者による操作方法の支援など貸館の利用者にとって、利用し易い環境を整備する。 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 指定管理者に web 配信関連設備の操作方法を習得させるとともに、利用希望者に適切な操作指導を行えるようにする。 利用者への適切な web 配信関連設備の操作指導など利用者のニーズに柔軟に対応できるようにする。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|--|--|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など | |
|--|--|